

読者のひろば



読者の皆様からいただいたお便りの中から、ご意見や情報などを紹介します。

最近ハマっていることは、焼き芋を自分で作ること！庭の片隅にブロックを積んでかまどらしきものを作りました。ソロキャンプが流行していることは知っています

が、寒い中わざわざ外で？と思っていました。一度やったらもうやみつき。風が吹いても火の暖かさを感じたり、幼いころに風呂を沸かしていたことを思い出したり、そして焼き芋のおいしさに最高の笑顔が溢れます。(シエリーメイさん・女性)

寒い日に落ち葉^{たき}焚きでさつまいもを焼く。昔懐かしのシチュエーションで、最高においしいですよ。また、焚火^{たき}には炎のゆらぎと木が爆ぜる音などによりリラックス効果があるそうです。キャンプが人気なのは、おいしい食材を好きなように料理できる気軽さと、心地よい環境が理由なのかもしれません。皆さんも、かや紅はるかで焼き芋づくりに挑戦してみてくださいいかがでしょうか。

1 月15日に開催された鹿屋よかもん商店市に家族ででかけた

。会場は多くの来場者でにぎわいい、商品券もとてもお得感がありました。今まで知らなかった新たな食品を目にした、実際に購入してみて、鹿屋の食材はまだまた新たな食の可能性が追求できるのではと思いました。来年以降の開催も期待します！(寺山シーザーさん・男性)

「鹿屋よかもん商店市」は市内事業者が製造・加工・販売する食関連商品の認知度向上を目的に開催されました。商品券はイベント前日に完売し、当日は38事業者の自慢の逸品を求めて、多くの市民でにぎわいました。会場は笑顔と「おいしい」という声であふれ、改めて鹿屋の「食の力」の大きさを感ずるイベントとなりました。今後も「鹿屋よかもん商店市」をはじめ、鹿屋の魅力を皆様に伝えられるイベントを企画してまいります。

12 月24日の霧島ヶ丘公園ファンタジーナイト2022に、家族3人で出掛けました。5歳になる娘は、去年までは街のイルミネーションを見て、怖いと言いなながら泣いていましたが、綺麗な花火や色とりどりのイルミネーションを見て喜んでいました。ポーズを決めて写真撮ったり、手をつないでいい思い出ができました。子どもの成長は早いもので、来年は小学校入学です。一日一日を大切にしながら、健やかに元気に育ってほしいです。(アーニヤさん・男性)

子どもの成長は早いもので、知らないうちにいつの間にか大きくなっていきますよね。子どもがご両親や周りの人たちの愛情に囲まれるのびと成長してほしいとの願いから、市では、第2次鹿屋市総合計画の基本目標の一つに「子育てしやすいまち」を掲げ、各種施策に取り組みしています。また、結婚、妊娠・出産、子育ての各ライフステージで切れ目のない支援を行うことで、安心して「かのやっ子」を産み育てられる環境づくりに取り組んでいきたいと考えております。子育ては未来の人材を育てる重要な営みです。全ての子どもたちを大事に守り育てていきたいものです。

フォトネタ！



霧島ヶ丘公園のつらら

1月末に襲来した10年に1度の強烈寒波により、霧島ヶ丘公園の水飲み場に芸術的なつらが誕生。西風を受けて斜めに伸びています。

「初詣で吾平山上陵を訪れるのはなぜ？」のカノヤノトリセツを読んで、そうだったのかと、この年齢になって初めて知りました(小さいころから父母とお参りしていたのに)。これからもいろいろなことを知っていきたく思っています！今年も広報かのやの楽しい記事を期待しています。(kakiさん・女性)

世界は「なぜ？」にあふれて、分からないことだらけです。人生は知的探究心によつて豊かになると言われますが、年齢を重ねるにつれて物事についての好奇心が薄れてしまうこともあるかもしれません。kakiさんのように、そうなんだ！そうだったのか！と喜びを得られる豊かな人生でありたいものです。広報かのや、皆様のふとした疑問解消や、知的探究心の一助となれるよう日々邁進してまいります。